



## 安中フェス2020～響けみんなの笑い声～を終えて

～2年1組編～

男子 K.K

ぼくは、今回のフェスを終えて得たものがたくさんありました。これはそのうちの二つです。一つ目は、みんなでやり遂げたという達成感です。ダンスでは、最初みんなは、「無理」や「恥ずかしい」などと言っていました。でも練習を重ねていく上で、みんながだんだん心を開いてくれました。そして迎えた本番当日、今までにないくらいの最高のダンスを踊ることができたし、とても嬉しかったです。

二つ目は、クラスの絆です。それこそ、ダンスだったり団対抗の競技など、たくさんあります。その中でも特に心に残っているのは、八の字跳びです。結果は良くなかったものの、練習の時にできない人の配置を考えたり、失敗したら、「ドンマイ」などと優しく声をかけていたのがいいな、と思いました。

ぼくは、安中フェスを終えてこれまでに見たことのない仲間の姿や、たくさんの経験ができたので良かったし、良かったです。

男子 K.A

僕は安中フェスを通して様々なことを感じた。楽しさ、うれしさ、悔しさ、達成感。

その中でも特に達成感を強く感じた。なぜなら安中フェス本番の何日も前から、団練習があり、そこでたくさんダンス練習をして本番の三日前にやっと覚えたからだ。今回のダンスは去年と違いとてもテンポが速かった。だからすごく難しかった。練習中も「これ覚えて踊れたらすごく楽しいだろうなあ」と思ってずっと練習していた。だから、より本番で踊れた時の達成感やうれしさは忘れられない。そして僕は個人走も出た。結果は三位だったけど、例年とは違う長さの個人走でも楽しかった。八の字跳びでは、1年生の赤団が二百七十回くらいとんだ時、自然と拍手が出た。すごい、と思う反面とても悔しかった。

この安中フェスで僕は最近、暗い話ばかりで気持ちが落ち込んでいたけど、とても気持ちが明るくなったので良かった。

女子 M.R

私はフェスを終えて3年生のすごさを改めて感じました。

フェスまでの団活の時間はすごく短くて、私はダンスを最後まで覚えられるか不安でした。でも、3年生は難しい振りを丁寧に、教えてくれて、毎日短い時間の中でダンスを少しでも高いレベルに上げるために、たくさん声をかけて、青団を引っ張ってくれました。また、当日もオープニングで3年生がダンスを踊ったり、着替えて違う人になりきって出てきたとき、会場が笑い声や笑顔でいっぱいになりました。午後からの出し物もすべて完成度が高くて、とても盛り上がっていて、みんなが楽しんでいました。

フェスまでの準備期間が短かった中、全員が楽しめるようにたくさん計画し、当日にしっかり実行できる力、下級生を最後まで引っ張る力、大変でも全力でより良いものにしようとする3年生は、本当にすごいと思いました。

